



Mozambique Area1 LNG Project/案件概要

MITSUI & CO., LTD.

プロジェクト・パートナー

鉱区名	モザンビーク共和国沖合い探鉱鉱区Area1 (水深：0～2,000m・面積：10,700km ²)			
権益保有者	Anadarko社 (ホールドラー)	36.5%	Bharat社 (印)	10.0%
	MEPMOZ社	20.0%	Videocon社 (印)	10.0%
	ENH社 (国営石油会社)	15.0%	PTTEP社 (泰)	8.5%

プロジェクト経緯・現状

1. 経緯

- 2008年に上記鉱区の20%をホールドラーであるAnadarko社より取得。
- 2010年以降10本の大水深試掘井を掘削、そのうち7本においてガスの存在を確認。資源量は35-65TCF (Anadarko社発表) と世界有数の規模。

2. 現状

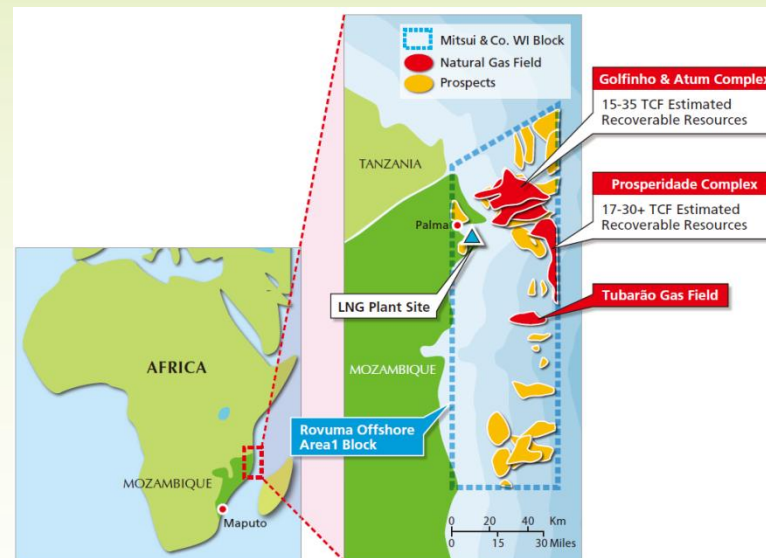
(1) 既発見ガスのLNG商業化に向けた取り組み

- 巨大ガス田発見を契機に、LNGによる商業化構想をパートナー間で合意。
- 第一段階として年間1,000万トンのLNG生産を計画 (500万トン×2系列)。
- これまでに初期的な基本設計を完了、今般天然ガス液化プラント、及び海底天然ガス生産設備設置に関する基本設計作業を発注。
- 2018年のLNG生産開始に向け、2013年末の最終投資決断を予定。また上記基本設計作業の他、日本やアジアを含めた販売活動を実施中。日本を中心としたエネルギー資源の安定確保への貢献を目指す。

(2) 更なる油・ガス資源量積み増しに向けた取り組み

- 鉱区内の未探鉱エリア (南部・北部) に於いても、油・ガス埋蔵の有望性が期待されており、探鉱活動の加速化を通じ、更なる油・ガス資源量の積み増しを図る。

Area1鉱区地図



出典: Anadarko社